



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしょう

No. 348

令和6年5月2日（木）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/misho/>



大人の姿が環境をつくります

校長 後藤 正美

- ①全てのこどもについて、こどもの権利を尊重します。
- ②全てのこどもについて、意見を大切にして、1番よいことはなにかを一緒に考えます。
- ③お父さんやお母さんが、安心してこどもを生み、育てることができ、こどもの成長を喜べるように環境づくりをします。
- ④地域のみんなが、それぞれの役割を理解して、お互いに協力しながら、こどもや子育てを応援します。

「こども用パンフレット」より

これは、見附市で4月1日に施行された「こども子育てどまんなか条例」で、取組を行う際に「大切にしたい4つの考え方」として明記されたものです（下線は後藤）。

学校では、特に①②について、これまで以上に意識したいと考えます。私が始業式において、子供たちへ次のように呼びかけたのもその一つです。

さっそく運営委員会の皆さんと6年生に宿題を出します。6月15日は見小の151歳の誕生日、創立記念日です。今年は記念式典がありません。でも、せっかくの見小の誕生日、皆さんならどんなことをして全校でお祝いしますか？

皆さんの力で、「見小おめでどう集会」を考えてほしいと思います。

大人と子供が共に創る学校にしたい。意見を尊重する大人の姿勢を示したい。そんな願いを込めました。5月25日の大運動会開会式でも、子供たちの考えを生かしたアピールができないかと企画しています。

また、愛育会総会では、「ご家庭では保護者であると同時に、学校へお越しの際には、見小っ子全員のサポーターであってほしい。」と話しました。わが子の周りの環境が豊かになれば、わが子は主体的に伸びていくものです。学校と一緒に創る当事者の1人としての大人の姿を、学校と愛育会で子供たちに見せて参りましょう。もちろんサポーターですから、やれる範囲で、やれるときに、やれる人が無理をせずに行う。これが持続していくポイントです。

私たち学校職員も、勤務時間の中で、地域の宝である子供たちを教育することが最大の地域貢献であり責務であると自覚し、今年度も誠実に勤めて参ります。

見小っ子をどまんなかに据え、成長を共に喜び合える1年にしていきたいと思います。